

しばらく開催しておりませんでした本研究会の研究集会（第4回）を11月5日（土）に、東京大学農学部で開催致します。発表は10題程度を予定していますが、それ以外にも総合討論の時間を設け、さらに根に関する展示も行なう予定です。詳細につきましては、本号に掲載してある案内をご参照下さい。

根の専門以外の研究者、あるいは一般の方々を対象とし、これを読めば植物根のことはほぼわかる、「根ハンドブック」の出版の作業が進んでいます。会員の方々を中心にお願ひし、現在50編を超える原稿が集まっています。10月中には完成し、上記の研究集会にて頒布する予定です。また、詳細につきましては次号でご案内致します。

さて、これまで行なってきたシンポジウムのその後の経過についてお知らせします。昨年9月に開催されました第1回シンポジウム「根の生長運動と根系形成」で発表されました論文の一部は、Plant and Soil誌上に近々掲載されます。また、全論文を掲載した小冊子を本研究会より年内に発行します。これにつきましても詳細は次号にてご案内させていただきます。第2回シンポジウム「植物根系の理想型」のプロシーディングは、博友社から来春、単行本として出版される予定で、現在準備が進んでおります。また、「理想型根系」に関するシンポジウムの続編として、来年9月に福井県立大学にて開催予定のアジア作物学会議にて第3回のシンポジウムを、ミニ・シンポジウムの形で設定するべく、準備が進んでいます。前回のシンポジウムで、「理想型」を考える場合、植物の生育条件と、何を実現するための理想型であるのかを明確に規定する必要があるとの意見も出されました。ここでは、とくにイネの生産性にとっての「理想型根系」について集中して議論したいと考えています。詳細はこれも次号にてお知らせする予定です。さらに、第4回以降のシンポジウムのテーマについても、会員の皆さんからの積極的な提言をお願いします。現在、植物生理学、分子生物学での研究対象・材料としての根のおもしろさについてのシンポジウムを開いてはどうかとの提案があります。

本誌は会員間の情報交換も重要な役割と位置づけております。つきましては1993年に出版されました会員ご自身による著作（著書、学術論文、講演要旨、新聞記事等）がございましたら、その一覧か別刷りを事務局の方までお送りいただけますようお願い申し上げます。本誌に掲載させていただきたく存じます。

1994年9月 会長代理 山内 章